

# 横浜市土砂災害ハザードマップ

## 大雨から身を守るために

— 戸塚区 北部版 — 平成30年7月

横浜市の地質や地形等から大規模な土石流が発生する可能性は低いものの、毎年、台風や集中豪雨により崖崩れが発生しています。災害から命を守るためには、市民の皆様も災害に関する一定の基礎知識が必要です。「自分の家だけは災害に遭わない」という意識を変え、様々な情報から危険を感じとり、主体的に避難行動等をとっていただけるようにこのハザードマップを作成しました。

### ◆ 土砂災害ハザードマップとは？

土砂災害ハザードマップは、梅雨期の集中豪雨や台風に伴う豪雨などにより、崖崩れが発生した場合に被害を受けるおそれのある区域を土砂災害警戒区域として示し、崖崩れ災害が予想される場合や崖崩れが発生した場合に、市民の皆さんが避難などの適切な行動を取っていただくために作成したものです。

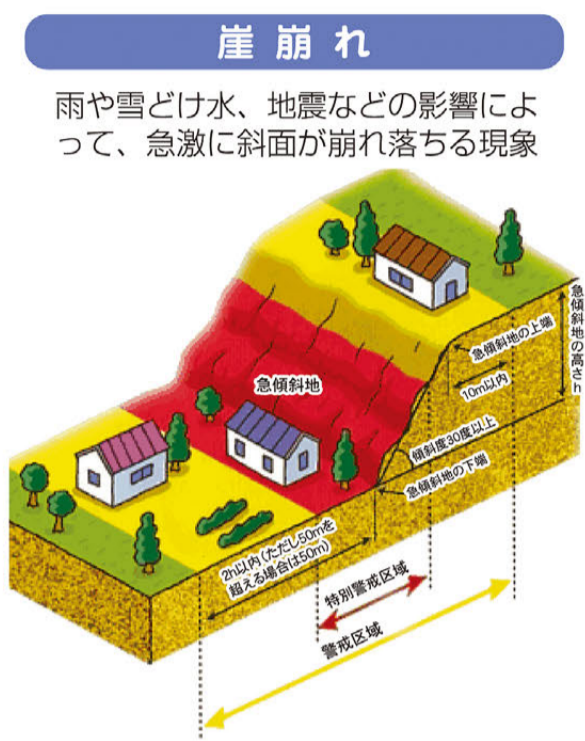
ハザードマップには、避難所の位置や大雨に対する備えなどについてまとめていますので、日頃からご家族や地域の方と話し合ってください。

### ● 土砂災害警戒区域

- 傾斜度が30度以上で高さが5m以上の区域
- 急傾斜地の下端から水平距離が10m以上の区域
- 急傾斜地の下端から急傾斜地の高さの2倍(50mを超える場合は50m)以内の区域

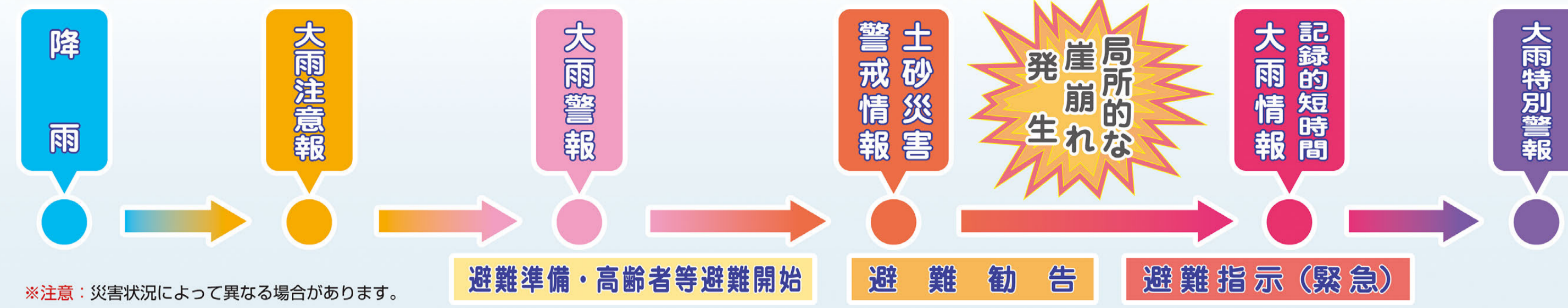
### ● 急傾斜地崩壊危険区域

- 傾斜度が30度以上、高さが5m以上のがけ地で、がけ崩れにより、危害が発生するおそれのある家が5戸以上又は5戸未満であっても、官公署、学校、病院等に危害が生ずるおそれのある区域



— ① —

# 土砂災害に係る防災情報等の流れ (イメージ)



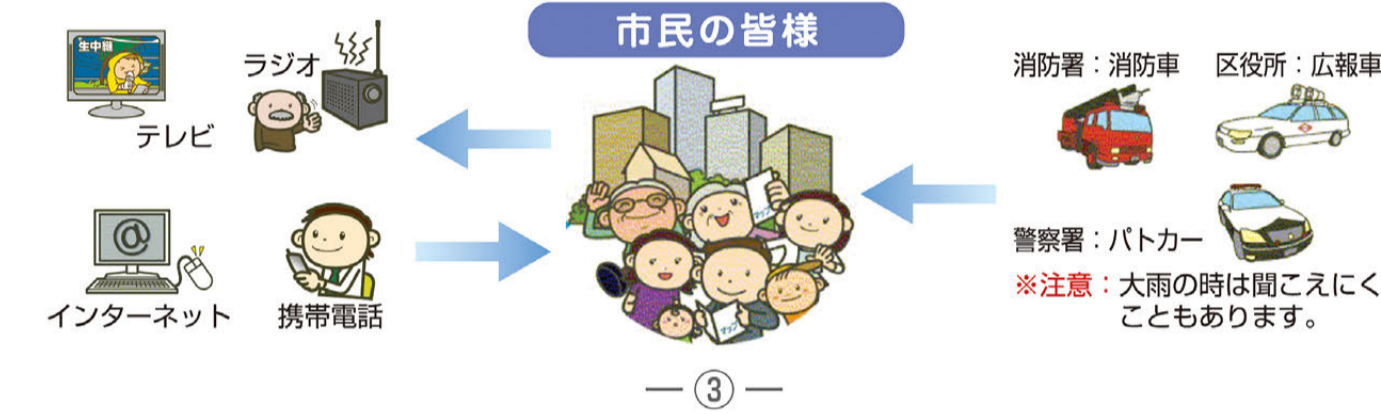
※注意：災害状況によって異なる場合があります。

## 注意報・警報等の発表基準

気象情報	情報内容	発表基準
大雨注意報	大雨により災害が発生するおそれがある場合	表面雨量指数*1や土壌雨量指数*2などが一定以上
大雨警報	大雨により重大な災害が発生するおそれがある場合	表面雨量指数や土壌雨量指数などが一定以上
土砂災害警戒情報	大雨による土砂災害発生のおそれが高まった場合	過去の重大な土砂災害の発生時に匹敵する極めて危険な状況になると予想される場合
記録的短時間大雨情報	災害の発生につながるような、稀にしか観測しない雨量である場合	1時間雨量100mm
大雨特別警報	大雨により重大な災害が発生するおそれが著しく大きい場合	台風や集中豪雨などにより数十年に一度の大雨が予想される場合

\*1表面雨量指数・・・地面の被覆状況や地質、地形などを考慮して、降った雨が地表面にどれだけ溜まっているかを数値化したもの  
\*2土壌雨量指数・・・降った雨が土壌中に水分量としてどれだけ溜まっているかを数値化したもの

### ◆ 防災情報等はどうやって伝達されるのだろうか？



— ③ —

## 土砂災害ハザードマップを活用しましょう！

台風や集中豪雨などによる崖崩れから身を守るためには、市民の皆様一人ひとりが防災意識を高め、情報収集し、日頃から備えを行うことがとても重要です。

- ▶ 自宅を確認しましょう (P④へ)**  
裏面のマップで「自宅の位置」と「危険な場所」を確認し、避難経路を考えましょう。
- ▶ 避難のサインと避難行動 (P⑥へ)**  
土砂災害の前兆現象を知り、ご自宅に応じた避難行動について考えましょう。
- ▶ 情報収集について (P⑦へ)**  
横浜市のホームページや横浜市防災情報Eメールなどから災害時に必要な情報を入手する方法をまとめました。
- ▶ 日頃の備え (P⑧へ)**  
「非常時の持ち出し品リスト」を参考に、避難するときに持ち出すものを準備しましょう。  
・「避難カード」にまとめて、確認できるようにしましょう。

## 自治会・町内会に加入しよう

地域の自治会・町内会では、お祭りや防災訓練などの活動を通して、普段から「顔の見える関係」作りを行っています。災害が起こった時に、何より大切なのは隣近所との助け合いです。自治会・町内会に加入して、一緒に安全・安心なまちをつくりましょう。



## お問合せ先

お問合せ内容	取り扱い部署	連絡先(電話)
地域の防災活動に関すること	戸塚区役所総務課防災担当	866-8307
人命救助・救急に関すること	戸塚消防署	881-0119
道路・下水道に関すること	戸塚土木事務所	881-1621
崖に関すること	横浜市建築局建築防災課かけ防災担当	671-2948
土砂災害警戒区域全般に関すること	神奈川県横浜川崎治水事務所	411-2500
自治会・町内会に関すること	戸塚区役所地域振興課地域活動係	866-8411~3

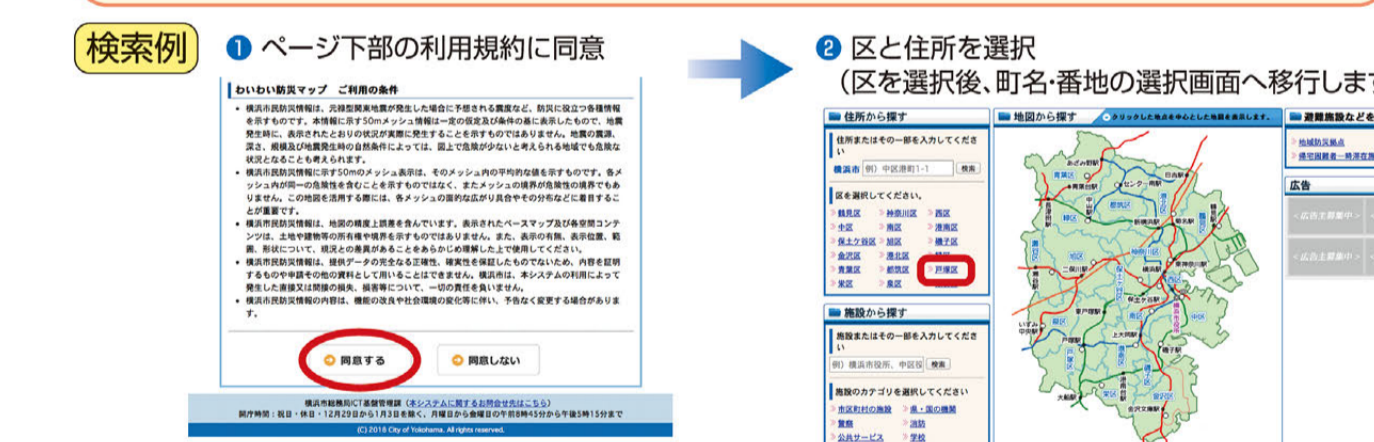
— ② —

## 自宅を確認しましょう

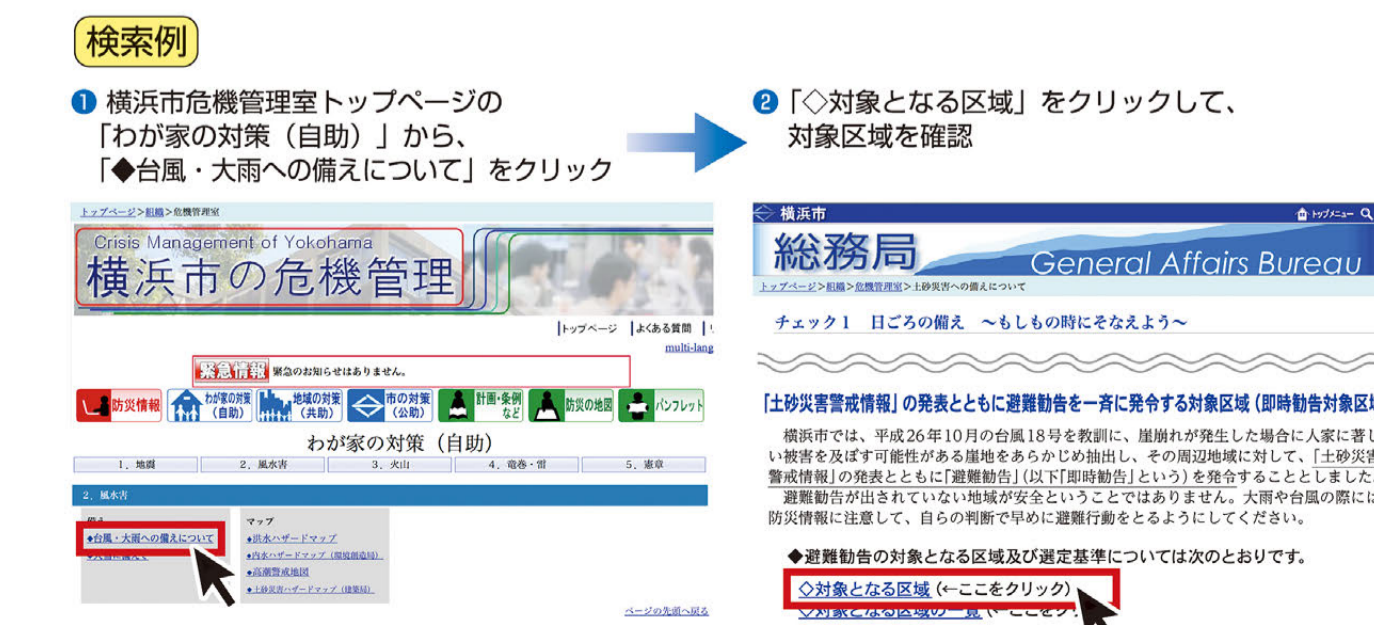
### ◆ 土砂災害ハザードマップで自宅と避難場所を確認しよう！

◎自宅付近に崖地がないか裏面マップまたは次のホームページで確認しましょう。

ホームページでの確認方法  
<http://www.city.yokohama.lg.jp/agreement.asp?dtp=6&ngp=/index.asp>  
※より詳細な地図を確認することができます。



### ◆ 「土砂災害警戒情報」の発表とともに避難勧告を発令する対象区域を確認しよう！



— ④ —

## 避難のサインと避難行動

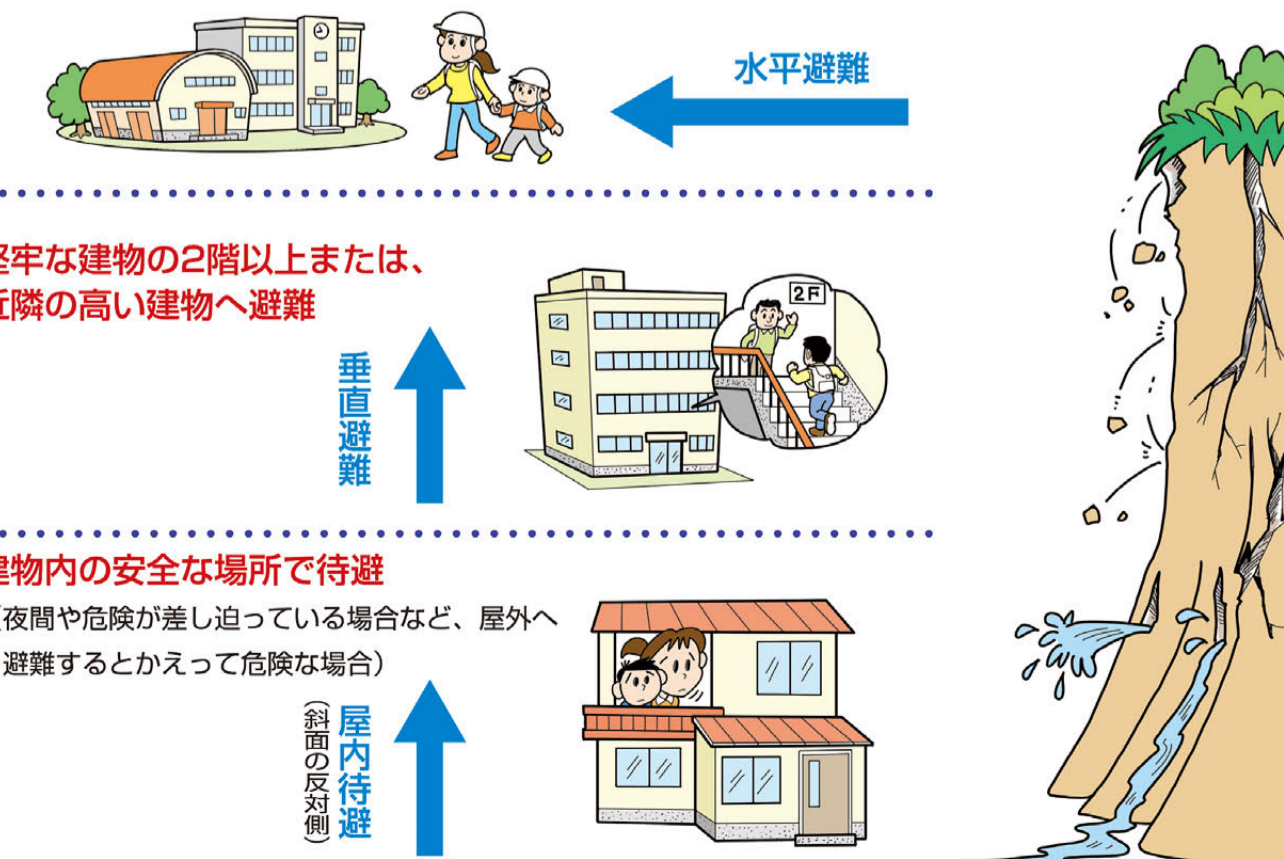
### 避難のサイン (情報は早めに!!)



こんな前兆現象が、あつたり・・・  
避難勧告などが、でたら・・・

### 避難行動 (早めに行動!!)

安全な場所へ避難 (避難場所、近くの高台、土砂災害警戒区域外の親戚の家など)



— ⑥ —

## 情報収集について

### ◆ ホームページから情報を入手しよう！

横浜市ホームページに避難勧告などの情報を表示！  
<http://www.city.yokohama.lg.jp/>



◎神奈川県土砂災害情報ポータル  
<http://dosyasaigai.pref.kanagawa.jp/website/kanagawa/gis/index.html>



### ◆ 横浜市防災情報Eメールの配信サービス

あらかじめ電子メールアドレスをご登録された方に対して、気象注意報・警報が発表された場合や河川の水位がある基準を超えた場合などに、メールを配信します。

横浜市防災情報Eメールの登録  
<http://www.bousai-mail.jp/yokohama/>  
※電子メールの情報は無料ですが、通信料は受信者の負担となります。

携帯電話でも上記アドレスにアクセスすることができます。また、QRコード読み取り機能がある場合は、左のQRコードを読み取ると、メール配信サービスの登録サイトが表示されます。

— ⑦ —

## 日頃の備え ~非常時の持ち出し品~

### ◆ 非常時の持ち出し品リスト (必要最低限なもの)



## 避難カード

いざというときに適切な行動がとれるように、ご自宅に応じた避難行動などを確認しておくことが重要です。避難が必要となる災害や注意すべき情報、避難方法などを記入して、災害に備えましょう。また、家族や近隣の方と話し合い、これらの情報を共有しましょう。

災害の種類	注意する情報	情報の入手方法	避難行動

災害の種類	注意する情報	情報の入手方法	避難行動
崖崩れ	避難情報 土砂災害警戒情報	横浜市防災情報Eメール その他テレビ、ラジオ、ホームページなど	◎避難場所へ避難 ◎外に出るのが危険な場合は、崖の斜面の反対側の部屋に避難
〇〇川氾濫	〇〇川△△橋水位情報 「避難判断水位」	横浜市神奈川県ホームページ 横浜市防災情報Eメール	◎マンション最上層の共用スペースに避難
高潮	高潮警報	横浜市防災情報Eメール	◎親戚の家に避難

— ⑧ —